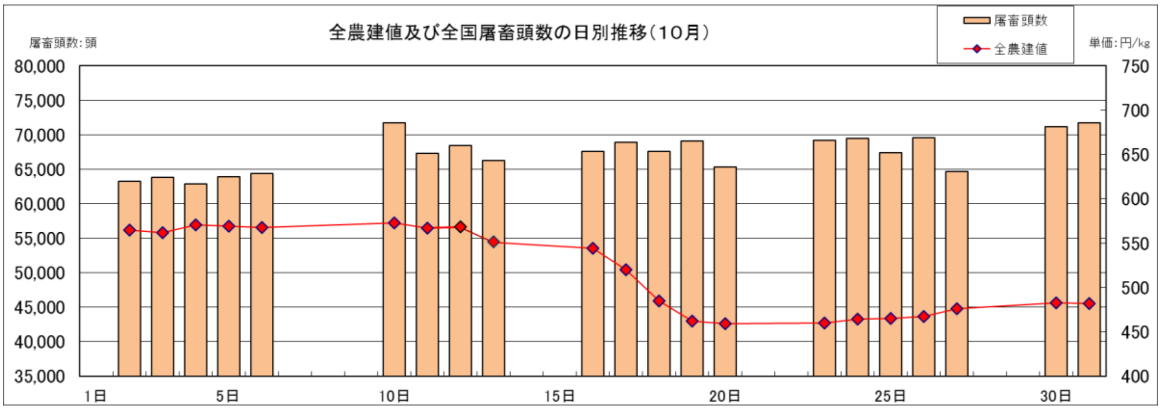
肉豚インフォメーション（１０月）

●１０月の動向

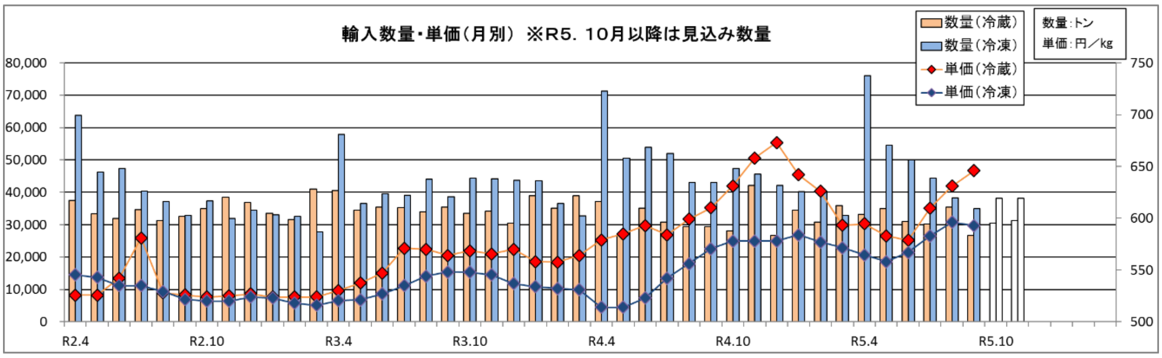
2023 年１０月（税抜）	2022 年１０月（税抜）
517 円/kg（58 円減）	575 円/kg

※全農建値

１０月は中旬頃から気温の低下とともに出荷頭数が増加するとともに相場は 500 円を割り込み、月末にかけて軟調な相場展開となった。

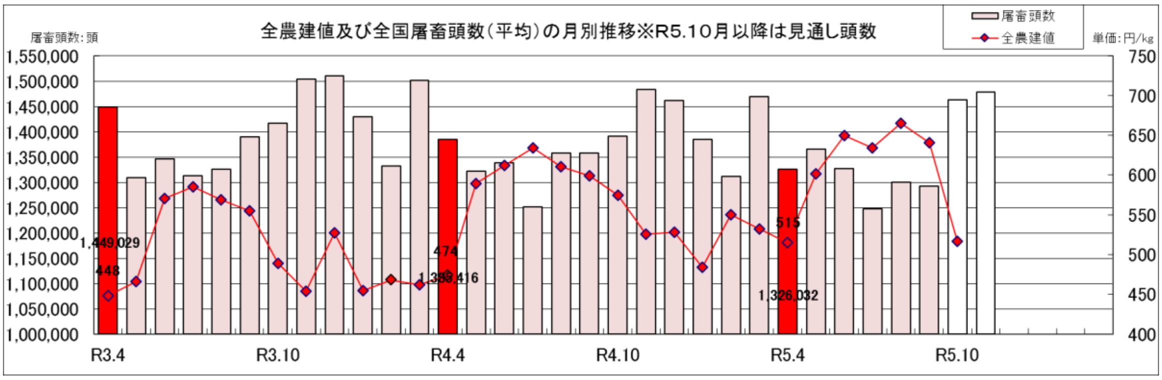


●輸入動向



●１１月の動向

１１月の出荷頭数は、前年同月並みと予測されている。



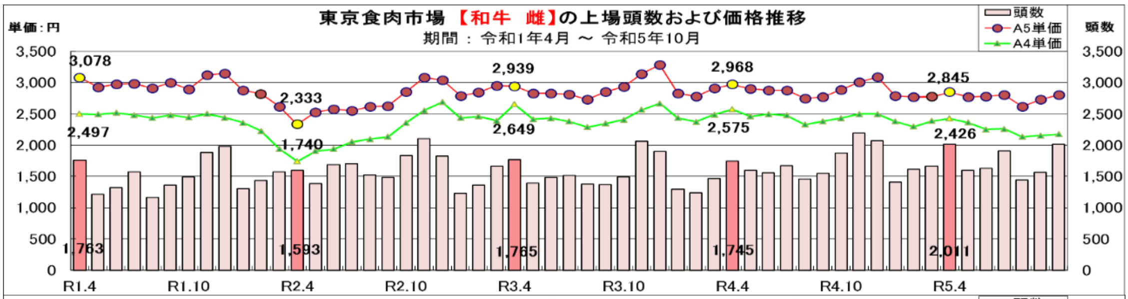
１１月の相場は、弱含みの展開が予想される。

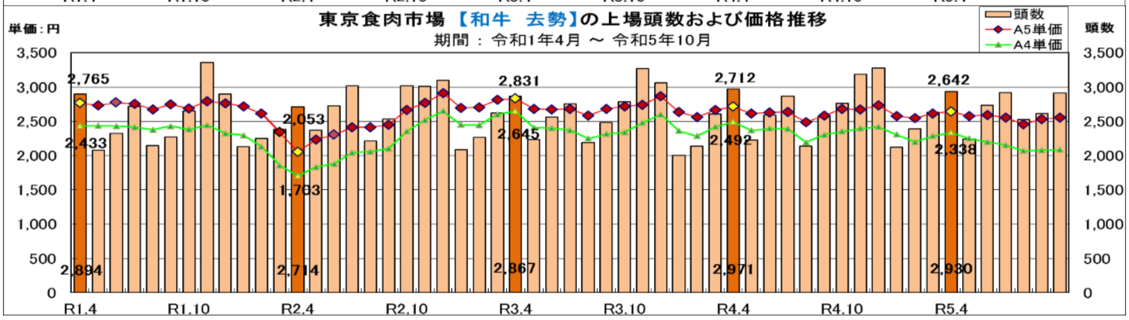
全農建値（税抜）予測レンジは 450 円～490 円とする。

肉牛インフォメーション（１０月）

●１０月の動向

末端の消費は鈍いが、共励会などの増加により高品質な枝肉が集まり市場相場はもちあいで推移した。





●１１月の動向予測

和牛は前年並みの相場に届かないまでも、それなりの価格は維持すると思われる。上げ要因に乏しいが年末年始に向けた手当てに期待したい。

１１月相場は「もちあい」の展開と予想。

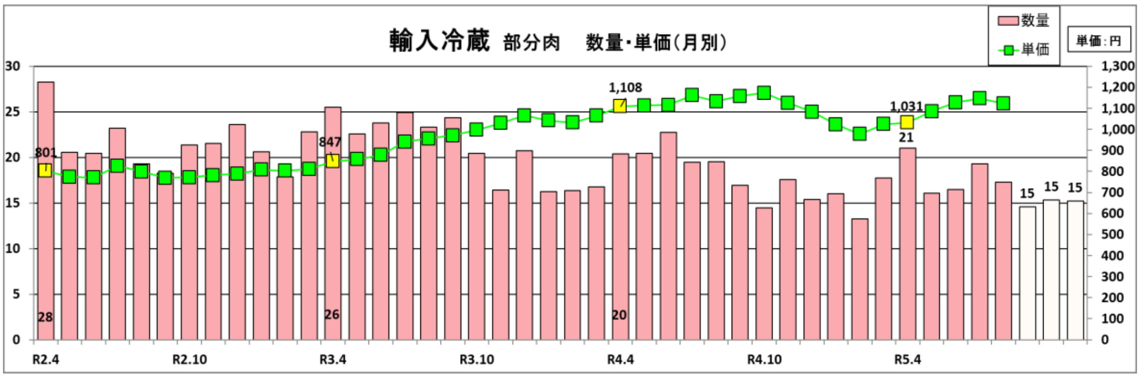
和牛去勢　A5 等級 2,500 円（税込み）　　A4 等級 2,150 円（税込み）

交雑去勢　B4 等級 1,600 円（税込み）　　B3 等級 1,500 円（税込み）

●輸入牛肉

冷蔵品輸入量は、１０月は、需要低迷下にあるものの、前年同月の輸入量が少なかったこと及び生産量の増加から豪州産輸入量が増加すること等から、前年同月をやや上回ると予測する。１１月は、需要低迷に加え、豪州産を除くほとんどの輸入先からの輸入量が少ないこと等から、前年同月をかなり大きく下回ると予測する。なお、３カ月平均では、前年同期をかなりの程度下回ると予測する。

（ALIC 牛肉の需給予測について１０月２７日）



食肉インフォメーション（１０月）

●10 月の動向

〇牛肉

相次ぐ物価高騰で比較的安価な商品の需要が増える中で、切落し用のスソ物は好調だったが、ロース・ヒレ等の高級部位は不調だった。スライス向けの肩ロース・バラは、気温の高い日が多かったことで鍋物需要は例年と比べて弱く、販売が伸び悩んだ。

〇豚肉

相場が落ち着き出荷頭数も増加してきたが、相次ぐ物価高騰で末端消費は弱い状況。切落し用のバラやスソ物、挽肉が好調だったがロース・肩ロースは不調だった。例年は鍋物需要が高まる時期だが、日中気温の高い日が多かった影響で振るわなかった。

●11 月の動向予測

〇牛肉

11 月は気温低下に伴い、鍋物用の肩ロース・バラが好調となるほか、比較的安価なスソ物は引き続き堅調に推移する見通し。ロイン系は物価高騰の影響の中、祝日の連休で外食需要の増加が見込まれるが、量販は引き続き厳しい状況となる予想。

〇豚肉

予報では中旬ごろから気温が低下するとみられるため、鍋物用のロース・肩ロースは需要増加で好調な販売になると予想される。物価高騰による節約志向も引き続き強く、比較的安価なウデ・モモの売れ行きは堅調に推移すると見込まれる。

●業態別概況

表：全農いばらき食肉センター　業態別取引先実績（令和５年９月期）　単位：千円、％

年度	ＪＡ	どきどき	給食	仲卸	食肉専門店	量販店	飲食店	合計
令和３年度９月	10,021	13,067	673	33,682	13,956	13,397	5,128	96,616
令和４年度９月	11,014	12,714	7,791	25,596	18,240	9,575	6,776	91,706
令和５年度９月	11,227	12,470	7,316	26,506	20,421	9,892	6,793	94,625
増減（R5-R4）	213	-244	-475	910	2,181	317	17	2,919
対比（R3/R5）	97%	83%	188%	79%	145%	74%	132%	98%
対比（R4/R5）	102%	98%	94%	104%	112%	103%	100%	103%